

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	総合政策学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 質の高い研究発表を行うための教育プログラムを整備する。	→学部生を対象とした研究発表会「リサーチフェア」における審査基準の設定と参加者数の倍増。	B
2. 三田市等の小中学校の「国際理解教育」のサポートとして学生を派遣し、学部での学びを教育現場で実践する機会を設ける。	→「国際理解教育」をサポートする「ボランティア・ティーチャー」制度の有無。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

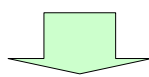
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) 2009年度の新学科開設にあたって文部科学省に提出した届出の内容を適切に履行する。 (現状説明) 授業科目の開講学期の変更など若干の変更点はあるものの、おおむね適切に実行している。但し、既設の総合政策学科、メディア情報学科についてもカリキュラム改正の制約を受けるため、課題について十分に対応できない現状である。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 教育課程におおむね相応しい教育内容を提供している。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
☆ 小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

小項目6.2.1	
☆ 小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目6.2.1	
☆ 小項目6.2.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目6.2.1	
☆ 小項目6.2.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
☆ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

- 「目標」2は6.3「教育方法」に配当するのが適切でしょう。
- 「現状説明」6.2.1について、完成年次までは問題点の洗い出しを丹念に実施し、完成年次以降の改善計画の準備をするのがよいのではないのでしょうか。

【学内委員】

- 早くから学部生を対象とした研究発表会「リサーチフェア」が行われており、教育の活性化が試みられていることは評価できます。
- 実学に関わる側面を持つ学部であるので、リサーチフェアや三田市への協力等を単位化するなどの工夫をして、学部生に実践力をつける必要があります。
- 自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。「おおむね相応しい教育内容を提供している」では現状がわかりません。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ☆ (小項目6.2.2) 初年次教育としては、基礎演習の充実をはかるため、アカデミックスキルの指導を目的とした学部独自の共通テキストを作成し、使用している。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>
